

研究班報告 4 地域連携研究班

地域連携研究班の報告

中村 昭雄

板橋区と大東文化大学が進めている「地域デザインフォーラム」は、昨年度は共同研究中間報告書をまとめた。今年度は2年目ということで、現在、最終報告書をまとめている最中である。

従って、研究会も全体会よりも、個々の分科会ごとの研究会のほうが多かった。以下、順次その概略を報告することとしたい。

4月25日、第6回全体会（①平成12年度の実績と反省、②平成13年度のスケジュール、③分科会の活動分科会、について検討）

7月18日、第7回全体会（①中間報告、②分科会の活動、③新しい研究員の紹介）

10月17日、第8回全体会（①最終報告書のスタイル、②地域デザインフォーラム、について検討）

12月7日、石塚板橋区長、須藤大東文化大学学長出席のもとに、大東文化大学で『地域デザインフォーラム』を開催。基調講演：テーマ「分権型社会における区市町村の役割と住民意識のあり方」講師：諸井虔氏（太平洋セメント相談役・地方制度調査会会長）。シンポジウムでは、それぞれの分科会から研究成果の報告があった。

2002年3月26日に、最終報告書の発表会が大東文化大学で行われる。尚、3月8日、9日、16日、23日に「公開講座」が開かれる。

地域デザインフォーラム

地域社会 I ・研究分科会の 1 年

第10回 平成13年5月24日（木）16:00～18:00 大東文化大学共同研究室

- 議題 1. 市民活動調査の結果報告
2. 今後の研究テーマと役割分担について
- ・ 町会・自治会活動
 - ・ 趣味のグループ・団体活動
 - ・ ボランティア団体活動

第11回 平成13年6月7日（木）15:00～18:00 大東文化大学共同研究室

- 議題 1. 市民活動調査の分析
- ・ 回収結果から区民の地域活動への参加意識等を分析
 - ・ 3つの活動団体の特性について
2. 3つの活動団体に対する今後の調査方法について

第12回 平成13年7月5日（木）16:00～18:00 大東文化大学共同研究室

- 議題 1. 市民活動調査の分析
- ・ 3つの活動団体の特性分析と比較
 - ・ 地域特性について
2. 3つの活動団体に対する今後の調査方法について

第13回 平成13年7月19日（木）15:00～18:00 大東文化大学共同研究室

- 議題 1. 市民活動調査の分析
- ・ 3つの活動団体の特性分析と比較
 - ・ 地域特性について（年齢構成・区基本計画における位置付け等の比較）
2. 3つの活動団体に対するヒアリング調査の実施について

第14回 平成13年9月25日（火）16:00～18:00 大東文化大学共同研究室

- 議題 1. 最終報告書の内容について検討
- ・ 全体構成について
 - ・ 市民活動調査の掲載内容について
2. 板橋区における区政への住民参加について
3. 3つの活動団体に対するヒアリング調査の内容調整

第15回 平成13年10月25日（木）15:00～17:00 大東文化大学共同研究室

- 議題 1. 3つの活動団体に対するヒアリング調査内容の最終調整
2. 3つの活動団体と板橋区との関係について
- ・ 板橋区のコミュニティ施策の現状
 - ・ 区民と板橋区との協働の現状
 - ・ 情報公開・区民参加の現状

3. 地域デザインフォーラム (12月7日開催) 発表内容について
- 第16回 平成13年11月22日(木) 16:00~18:00 大東文化大学共同研究室
議題 1. 地域デザインフォーラム (12月7日開催) 発表内容について
2. 3つの活動団体に対するヒアリング結果について
- 第17回 平成13年11月29日(木) 15:00~17:00 大東文化大学共同研究室
議題 1. 地域デザインフォーラム (12月7日開催) 発表内容について
2. 3つの活動団体に対するヒアリング結果について
3. 最終報告書の内容調整
・市民活動調査について
・3つの活動団体に対する分析・研究内容について
- 第18回 平成14年1月10日(木) 15:00~18:00 大東文化大学共同研究室
議題 1. 最終報告書の内容調整
・市民活動調査について
・3つの活動団体に対する分析・研究内容について
・板橋区のコミュニティ施策に対する提言について
2. 公開ゼミナールの内容について
- 第19回 平成14年3月8日(金) 15:00~17:00 大東文化大学共同研究室
《公開ゼミナール》
テーマ まちづくりと地域社会
講師 日本大学文理学部教授 松野 弘

福祉のまちづくりをとおした連帯感 —地域社会Ⅱ研究分科会の活動を振り返る—

平成12年秋に、地域社会Ⅱ研究分科会の現在のメンバーが初めて顔をあわせた時、自然と広い意味の福祉をテーマにしようということになったのを覚えている。

まず当初は、援護を要する高齢者が特別養護老人ホーム等に入所するのに大都会ではあまりに長い待機期間を要している問題を取りあげられないかという意見で口火が切られ、それをやるなら在宅サービスもセットでみる必要があるのでは、さらには要援護者だけでなく健康な高齢者も引き続き元気にいきがい

ある生活を送るための行政側の支援等のありかたも重要な課題ではないか、それに加えて高齢者への、あるいは高齢者によるボランティア活動がこれからの高齢化社会を支える大事な要素ではないか、情報化による高齢者への支援の可能性という側面も見逃せない、という調子で今後の高齢化社会における広い意味の福祉を我が分科会の研究活動の土俵にしていく方向に自然とまとまっていったように記憶している。

大体のペースは月1回程度の開催であったが、平成13年の2月と9月の一晩泊まりの合宿が人間関係を深め、結果報告をまとめる上できわめて役立った機会であったというのはメンバー全員の共通する感想であろう。

報告書のはしがきやあとがきにも現れているが、利害関係にない公務員と教員がその属する組織、任務、専門分野等を超えて、学生時代のように机をならべて学び合うのは、新鮮ななつかしさと若干の感動をメンバーの心の中に残したのではないかと思っている。

こうした連帯感こそが新しい地域社会の基盤として欠くことができないものであろう。

平成13年度産業振興分科会経緯

- 5月10日：平成13年度共同研究について
5月24日：板橋印刷関連産業団体協議ヒアリング
6月9日：商店街活性化プランについて
7月7日：商店街活性化プラン及びベンチャーについて
7月21日：現在の区の状況について
今後のタイムスケジュールについて
8月30日：商店街振興、産業をとりまく環境変化について
9月28日：ベンチャーに関して
10月2日：消費者お買物調査実施
10月20日：板橋区と大学による新しい産業創出型信用保証制度の創設について
日本におけるインキュベーター施設概況
SOHO事業に関して
消費者お買物調査について
11月3日：12月7日の発表について
ヒアリング報告(東京都中小企業振興公社における創業・企業支援のヒアリング報告)
ビジネスインキュベーションモデルについ

て
ヴァンダービルト大学ビジネス・インキュ
ベーション研修について
消費者お買物調査の方向性について
今後の方向性について
11月25日：ヒアリング報告(日本ベンチャー
学会、JUNBO、龍谷大学等)
ビジネスインキュベーションモデルについ
て
12月7日の発表について

消費者お買物調査の結果報告
12月9日：組織シュミレーションモデルに
ついて
12月24日：最終報告書の分担について
1月14日：最終報告書に関して各担当者の
報告
1月26日：最終報告書の校正について
1月26日～28日：尼崎リサーチインキュベ
ーションセンター、伏見大手町商店街、龍谷
大学の視察